

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人 小百合愛児園 小百合ホーム
------	-------------------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和6年2月24日

③事業者情報

名称：社会福祉法人 小百合愛児園 小百合ホーム	種別：児童養護施設
代表者氏名：理事長 小山幸恵	定員（利用人数）40名（31名）
所在地：870-0267 大分市城原2600-10 TEL：097-592-0044	

④総評

◇評価の高い点

【経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。】

経営課題については、運営会議、会計会議において分析を行い、具体的な課題や問題点を明らかにしている。法人は、2019年～2024年（前期）2025年～2029年（後期）小百合ホーム社会的推進計画の目的項目には、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成等具体的な取組内容が示されており、社会的養育推進計画を具体的に進める計画となっている。

【施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。】

施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にし、めざす方向等について法人広報誌等に掲載し表明している。質の高い養育・支援を実施することについては、定例職員会議等の場において、「キーパーソンを中心にした支援」を施設内に十分に伝え理解されるよう取組んでいる。

【子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。】

養護計画書に明記。全体会、職員会議で周知徹底について取組を行っている。人権擁護については、法人や全養協自己チェックリストにより、子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行っている。

【子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。】

自立支援担当者を中心に、退所後の生活に向けて資金シュミレーションなどの個別ワークや自活訓練、持続的に進路面談を行うなどのリービングケアやアフターケアセンターと連携して継続支援計画の作成やアフターケアを行うなどを事業計画に盛り込んでいる。また退所者が集まる会を実施し、入所児童や職員と交流する機会を

設けている。

【心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。】

心理療法対応職員を配置し、心理的な支援を必要とする子どもには自立支援計画に基づき心理支援プログラムを策定して支援している。心理療法対応職員キーパーソンとなり、子どもの行動の背景について職員全体で共有できる環境を整えている。

◇改善を求められる点

【子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。】

思春期になるほど「人から見られたくない、干渉を許さない生活上の自由」が強くなると思われます。プライバシー保護については子ども尊重の基本であることから、心理面・環境面を合わせて規程・マニュアル等の整備を行うことを期待する。

【子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。】

現在も様々な事例やヒヤリハットをもとに権利侵害の防止と早期発見のための取組を行っているとのことなので、自分から声のあげられない子どもの意見に耳を傾けるとともに、マニュアルの充実化させ、職員が共有できるよう期待する。

【施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。】

ユニット内の生活が苦しく感じている子供がいないか常にアンテナを張り続けるとともに、子供間の暴力（性的暴力を含む）やいじめ、差別が生じないよう人権に対する意識を施設全体で継続して徹底していくことを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回の評価結果を踏まえ、「子どもたちの視点」を大切に最善の利益を目指してより良い支援を行っていただけるよう施設として取り組んで参ります。

今後とも、客観的視点からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）